

 つや姫  雪若丸	 穂肥だより	令和5年7月5日発行 山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト 西村山農業技術普及課 (TEL 86-8287)
---	---	---

## 生育診断を確実にを行い、適期に適量の穂肥で食味重視の米づくりを行いましょう！

- 中干しの効果を高めるために、作溝も合わせて行いましょう。
- 葉色が濃い場合、穂肥の時期はそのままに、施用量を減らして対応します。

作柄診断圃の生育状況（6/30、普及課調べ）

 「つや姫」の生育調査圃（寒河江市高屋）

調査項目	本年	平年	平年比
草丈 (cm)	45.4	46.3	98 (並み)
莖数 (本/m <sup>2</sup> )	655	588	111 (多い)
葉数 (枚)	9.4	9.7	-0.3 (やや少ない)
葉色 (SPAD)	40.7	40.4	+0.3 (並み)

 「雪若丸」の生育調査圃（寒河江市寒河江）

調査項目	本年	平年	平年比
草丈 (cm)	35.9	38.5	94 (短い)
莖数 (本/m <sup>2</sup> )	668	642	104 (やや多い)
葉数 (枚)	9.4	9.6	-0.2 (並み)
葉色 (SPAD)	40.1	44.8	-4.7 (薄い)

「つや姫」「雪若丸」の出穂期予想（7/4、普及課調べ）

地域・品種	移植日	出穂期 (予想)	出穂 30日前	出穂 25日前	出穂 20日前	
平坦部	雪若丸	5月15日	8月1日	-	7月7日 1.0~1.5kg	-
	雪若丸	5月23日	8月6日	-	7月12日 1.0~1.5kg	-
	つや姫	5月17日	8月6日	7月6日 1.0~1.5kg	-	-

### 「つや姫」

「つや姫」出穂期は8月6～8日頃と見込まれます。

- 7月上旬（10葉期）に生育診断を行い、遅くとも出穂25日前までに品質・食味を優先した穂肥を行いましょう。

7月上旬の生育診断と対応技術

生育量	莖数 (坪70株)	葉色 (SPAD)	追肥時期	追肥量
適正	28本/株以下	かつ 39以下	30日前	~1.5kg/10a
やや過剰	28~31本/株	または 39~41	30日前	~1.0kg/10a
生育過剰	31本/株以上	または 41以上	25日前	減肥 <sup>※</sup>

※ 葉色が低下しない場合、追肥を行わない。

### 農薬の危害防止に注意を!!

- ◎ 農薬は使用基準（適用作物、使用量、使用回数、使用時期等）を守って正しく散布する
- ◎ 周辺への飛散がないよう強風時は避け、風向や散布量、散布方向等に留意する



## 「雪若丸」

**「雪若丸」出穂期は、8月2～4日頃と見込まれます。**

- 穂肥は、出穂25日前（7月10日）までに窒素成分で1.5kg/10aを基本とします。
- 追肥時期が遅れたり、量が多いと品質が低下し、玄米タンパク質含有率が高まります。
- 6月中に窒素肥料を補完施用した場合は、補完施肥量に応じた減肥を行います。

### 7月10日の生育診断と対応技術

生育量	莖数（坪70株）	葉色（SPAD）	追肥時期	追肥量
適正	26～35本/株	40～44	25日前	～1.5kg/10a
生育不足	26本/株以下	40未満	30日前	～1.5kg/10a
生育過剰	35本/株以上	44以上	25日前	減肥

### <中干し後の水管理>

- 中干し終了直後は飽水管理とし、その後は、間断かん水に移行します。間断かん水により「うわ根」の伸長を促すことで穂肥の窒素利用効率が高まります。

### <斑点米カメムシ類>

- イネ科雑草が繁茂している畦畔、農道周辺では、斑点米カメムシ類の発生が多いので、地域ぐるみで草刈を徹底し、できるだけ生息密度を下げましょう。
- 圃場内のヒエ類やホタルイも斑点米カメムシを誘引します。残草処理を徹底しましょう！

### <いもち病>

- 葉いもちの発生が確認されています。好適感染条件が続いていますので、蔓延に注意が必要です。早期発見、早期防除に努めましょう。

### ★刈払機での事故に注意を！

暑い日の作業は注意力が低下しがちです。適度に休憩や水分補給をしながら、あせらず作業を進めましょう。

- ・保護眼鏡やヘルメット等の保護具をきちんと身につける！
- ・肩掛けバンドを適正な長さで装着！
- ・濡れた草の上は滑りやすいので足元に十分注意！
- ・草や異物が詰まったときの対応は必ずエンジンを停止！ **傾斜地では足場に注意！**



農作業事故と熱中症に十分注意しましょう！

休憩と、こまめな水分補給を心がけ、無理のない作業を！